

2010年(平成22年)6月6日  
埼玉新聞より

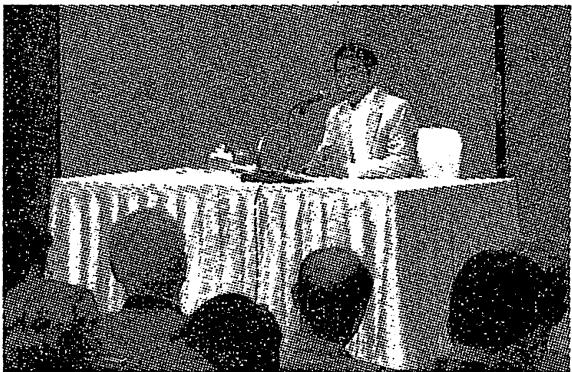
## 拓殖大公開講座 渡辺学長が講演

さいたま

さいたま市で5日、拓殖大  
学のオープンカレッジが開か  
れ、同大学の渡辺利夫学長が  
「迷走する日本 指導者の資  
質を問う」をテーマに講演し

た。

オープンカレッジは同大の  
知的財産を社会に還元しよ  
うと、11年前から毎年開催。6  
年目となったさいたま市での



講演する渡辺利夫・拓殖大  
学学長  
5日午後、さいたま市浦和区の  
浦和ロイヤルパインズホテル

公開講座には、400人を超  
える聴衆が参加した。

渡辺学長は、鳩山首相が辞  
任した理由について「政治と

が日本の外交の基軸である日  
米同盟を危機に陥らせている  
と懸念を表明。「政権のトッ  
プが理想主義的で、願望が現  
実であるかのように思い込ん  
でしまった」と批判した。

民主党特有の政治思想につ  
いては「ポストモダニズムと  
いう国家や共同体に価値を求  
めない、EU(欧州連合)か  
ら生まれた思想に基づいてい  
る」と指摘した上で、周辺に  
反日とナショナリズムを国是  
とする国家を持つ東アジアで  
ポストモダニズムを掲げる問  
題性を挙げた。

また、指導者に求められる  
資質として「平時に危機を想  
定し、危機が起きたときに判  
断の狂いなく、迅速に行動す  
ること」と話した。

(高橋信彦)

カネの問題以上に、米軍基地  
移設問題であまりにも迷走し  
過ぎた」と述べ、普天間問題